様式３(2020.06改)

作成日　令和　３年　１１月　３日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373100722
事業所名	グループホーム安城福釜の家

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	事業所への立ち寄りは控えてもらっていますが、地域の恒例行事である文化祭には子ども会や趣味人の作品とともに、利用者と職員とで制作した折り紙のちぎり絵を出典しています。また管理者が2ヶ月に1回催される町内会の集まりに出向き、運営推進会議の報告もおこない、関係継続を図っています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議は行政や地域の皆さんとの隔月開催が励行されてきましたが、コロナ対策として書面開催となっています。利用者と職員５、６名でで話し合った内容は議事録としてまとめてメンバーにも届けるとともに意見を求めていますが、特段あがってはいません。議事録は行政に提出しています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	安城市からはマスクや消毒液、フェイスシールドが届くほか、希望したなら検査キッドも受け取ることができます。またコロナをはじめ各種情報はeメール配信もあります。グループホーム部会はズームでの開催となっていますが、地域包括支援センターは空室の問い合わせだけでなく、何かにつけ利用者のことを気遣ってくださり、助けられています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	面会は自粛中でも、窓越しに会えなくはないのに家族が遠慮してしまい面会はほとんどありません。そのため、補充品などで訪れてくださったときや通院介助、電話などで連絡を取り合い、また年3回発行の「福釜だより」を通じて家族には生活の様子を知ってもらっています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎									